

【14歳の挑戦】

上市中学校生が福祉課の保健師に突撃インタビュー！



保健師の岩井さん

上市中学校の生徒

保健師の清河さん

令和6年7月5日、14歳の挑戦で、上市中学校の生徒が福祉課の保健師にインタビューを行いました。

最初は緊張していましたが、打ち解けて笑顔で楽しくインタビューで受け答えをする中学生と職員。そのインタビューの様子と、保健師の仕事内容や想いを紹介します。



Q: どんな仕事をしておられますか？

岩井さん：保健師の仕事は、赤ちゃんからお年寄りまで上市町の全ての方が健康でいられるように支援することです。

具体的には、赤ちゃんの家庭訪問や乳幼児健診、大人向けのがん検診や各種教室の開催など、住民の皆さんが健康を保つための活動が目につきやすい仕事かなと思います。

その他、町の医療費を分析し、かかりやすい病気や生活習慣の傾向などを調べて「健康課題」として整理し、町の取り組みに反映させることも保健師の重要な仕事の1つです。

さらに、行政の事務作業も多く、幅広い業務を担っています。

Q: 赤ちゃんの訪問ってどんなことをされているんですか？

岩井さん：私たちはかなり大きな体重計を持って、上市町で生まれたすべてのお子さんのところに家庭訪問をしています。

体重を測って成長の様子を確認したり、お父さんお母さんの子育て相談に乗ったりするのが訪問の目的です。

病気にかからないようにする予防接種の案内や、上市町で利用できる様々なサービスや施設のご案内などもしています。





Q：仕事をしていて大変だったことって何ですか？

岩井さん：私が役場に入りたての頃は、いろいろと慣れないことが多くて失敗の連続でした。

特に年上のお母さんたちの育児相談に乗ることは緊張の連続で、「あなたじゃ頼りないから他の人に代わって」なんて言われてしまうこともありました。

家庭訪問では道に迷ったり、赤ちゃんのおむつを前後逆にしたり、抱っこがぎこちなくてうまくできなかったりと、さまざまな失敗談があります。



Q：仕事をしていて、やって良かったと感じるときは？

清河さん：保健センターでは乳幼児健診や赤ちゃんの教室を行っており、その際にお母さんとお話をしたり、赤ちゃんに触れ合ったりする時間がとても楽しく感じています。

岩井さん：この仕事をしていて本当によかったなと感じるのは、相談が終わった後にお母さんから「ありがとうございました」や「お話しして気持ちが楽になりました」と声をかけてもらった時です。

私自身も同年代の子どもを持つ母親なので、お母さんたちの話にいつも共感しながらお聞きしています。これからも気軽に相談してもらえると嬉しいです。



上市町福祉課保健班・児童班

住所：

〒930-0361

上市町湯上野1176番地 上市町保健福祉総合センター2階

電話：

076-473-9355